

# 北陸防災 & 情報通信セミナー

～ 防災に関する講演と最新の防災システム機器の展示～

平成25年12月3日(火)

機器展示 13時00分～17時00分

講演会 13時30分～16時45分

KKRホテル金沢 3階 鳳凰の間

金沢市大手町2-32 (金沢城大手堀向い)

講演1 東日本大震災と北陸における地震津波防災

(13:30～14:30)



国立大学法人 金沢大学理工研究域教授 宮島 昌克 氏

東日本大震災では津波による被害が甚大であったが、液状化や斜面崩壊などの地震動が引き起こした地盤災害も顕著であった。東日本大震災の現地調査結果から、今後の課題を整理するとともに、今後発生が危惧されている南海トラフ地震への対応や、北陸における地震津波防災について考えます。

講演2 小型無人飛行機を活用した無線中継システム

(14:30～15:30)

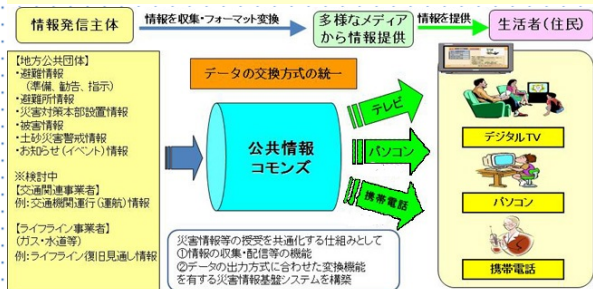
(独法)情報通信研究機構ディペンダブルワイヤレス研究室室長 三浦 龍 氏

東日本大震災では、通信設備や道路等が破壊されたため数多くの孤立地域が発生し、現地の被災状況が把握できずに救援活動が遅れたり、現地の住民の安否確認や不足物資の要求ができないなどの事態が発生しました。このような問題に対し、人による持ち運びができ、滑走路不要で、コンピュータ制御による自律飛行が可能な小型の無人飛行機による“無線中継システム”の実用化により、災害発生時における孤立地域の迅速な特定や、被災状況の把握、被災地との通信確保が可能になると期待されています。



講演3 公共情報コモンズの概要と運用状況について

(15:45～16:45)



(一財)マルチメディア振興センター  
プロジェクト企画部担当部長 川喜多 孝之 氏

公共情報コモンズは、安心・安全に関わる公的情報など、住民が必要とする情報が迅速かつ正確に住民に伝えられることを目的とした一つの情報基盤で、地方自治体、ライフライン関係事業者など公的な情報を発信する「情報発信者」と、放送事業者、新聞社、通信関係事業者などその住民に伝える「情報伝達者」とが、この情報基盤を共通に利用することによって、効果的な情報伝達を実現できるものです。

防災情報通信機器・防災システムの展示(13:00～17:00)



小型無人飛行機

ソーラー可搬基地局



(展示イメージ)



(展示イメージ)

問い合わせ  
申し込み

北陸総合通信局 防災対策推進室

TEL (076)233-4479 FAX(076)233-4499

hokuriku-shinkou@soumu.go.jp 締め切り 11月27日(水)

主 催  
協 賛

総務省北陸総合通信局 北陸情報通信協議会  
北陸地方非常通信協議会